

	撮像法	詳細	
EPI	Diffusion	生体内の水分子の微視的な拡散(ブラウン運動)を画像化。 急性期・亜急性期脳梗塞や脱髄性疾患等の診断に有用。	
	Perfusin	組織の末梢血流(灌流)を描出し、組織の血流動態を評価することができる。(CE必要) 超急性期脳梗塞の診断に有用の可能性あり。	
	ASL (Arterial Spin Labeling)	造影剤を用いずにPerfusion画像を得ることができる。	
DTI	DTI (Diffusion Tensor Imaging)	拡散の異方性を調べることができる。白質線維の描出が可能。(WS必要)	
Super FASE	HR-Hydrography	水成分の形状分布を画像化。	
		SAS	脳表面構造(脳溝・脳回)の描出。
		MR-Cisternography	内耳や脳神経の描出。
		MR-Sialography	唾液腺領域(耳下腺・顎下腺等)の描出。
		MRCP	総胆管や膵管等の描出。
		MR-Urography	尿路の描出。
	MR-Myelography	脊髄や馬尾神経の描出。	
FBI (Fresh Blood Imaging)	造影剤を用いずに、心臓より拍出される新しい血管を描出することができる撮像方法。(広範囲:下肢動静脈)		
Time-SLIP (Time-Spatial Labeling Inversion Pluse)	造影剤を用いずに、選択的に血管を描出することができる撮像方法。(範囲:15cm前後 全身の血管)		
MRA	造影MRA	目的血管を通過するタイミングを狙って高速撮像を行う方法。 Visual Prep(MR-fluoroscopy)で造影剤タイミングを目視で捉える。DRKS併用で高時間分解能で撮像することができる。	
	Moving Bed	一回の造影で広範囲の造影MRAを撮像することができる。	
	WET	水選択励起法を併用してMRA撮像することができる。	
Cardiac	Cine	壁運動を評価することができる。	
	Perfusin	心筋血流を評価することができる。	
	心筋遅延造影	心筋バイアビリティーを評価することができる。	
	Coronary	冠動脈を評価することができる。	
JET	JET	動き補正技術。	
FSBB	FSBB	磁化率効果を利用して高速流から低速流までの血管を描出することができる	